

第56期中央労働講座

全日本港湾労働組合東北地方本部
塩竈支部 瀧野進哉

愛知県豊橋市にあるシーパレスにて2025年6月12日から14日までの日程で第56期中央労働講座に参加させていただきました。

まず始めに鈴木誠一委員長の挨拶があり、今回の労働講座は全国の書記長レベルの方々を参加対象者とした経緯として、全港湾だけではなくすべての職域でも今後の課題とされる次世代のリーダー育成と若手への伝承、そして組織強化のためのよこのつながりといったお話をいただきました。

第1講座は全港湾鈴木誠一委員長より「全港湾の歴史」

第2講座は全国港湾玉田書記長より「産別協定と事前協議制度」

第3講座は全港湾鈴木龍一副委員長より「組織強化、役員、組織運営」についてです。

講座で話された内容として、第1講座では全港湾、全国港湾の結成の歴史から戦後の港湾労働の歴史、そしてこれからの全港湾労働運動の在り方。

第2講座では諸先輩方々が作り上げてきた制度の活用について。雇用と安定を守るための産別協定と事前協議制度の役割と重要性。

第3講座では組織力を高めるためには、労働組合の力とは、労働組合の役割・任務、理念・役割を実践するためのリーダーと資質。といったそれぞれの講義をいただきました。

今回の各講座を通して共通して言えることは、すべてにおいて長い歴史をかけて先人の方たちが築きあげられてきた貴重な財産であると感じました。我々港湾で働くすべての人たちの暮らしや雇用が守られているのは決して当たり前のことではなく、今までの歴代の諸先輩たちが勝ち取った協定と制度があつてこそそのものと再確認させていただきました。過去・現在・未来と私たち港湾で働く者たちにとって取り巻く環境や時代は今もこれからも変わっていくと思います。ですが、産別協定・事前協議制度を今回の講座に参加した私たちだけでなく、すべての組合員と共有していき、その時代に合った制度を上手く活用していきたいと思います。仲間たちの生活と雇用、自分たちが働く職域を守るためにもしっかりと私たちがその役割を果たせるよう、今回の労働講座で学んだことを必ず生かしていきます。

最後に全国の仲間たちと3日間、貴重な情報交換や交流をさせていただき、大変有意義で大切な時間となりました。これからの自分の組合活動の糧とし、より良い港湾発展のため、更なる前進をしていきたいと思っています。